

会派くらしよアイズ・倉吉自民共同「行政視察報告書」

(視察・調査の経過及び感想)

日 時 平成26/7/15(火)～17(木)
議 員 段塚 廣文、福谷 直美、丸田 克孝
米田 克彦、藤井 隆弘

1. 視察・調査の経過及び感想について

(1) 千代田区 7/15(火) 11:30～14:30
「要望活動・国会見学」

永田町に到着後、鳥取県選出の石破茂議員の事務所訪問。公務のため午前中は議員との面会ではできなかった。事務所では秘書(別紙面会者)を通して、本市への事業等支援(国道313号、北条道路、天神川一般河川改修)へのお礼等を述べると共にさらなる支援について願う。



議員秘書 石川 光氏の案内で、国会議事堂内を視察する。国会議事堂は、敷地面積103,001㎡、建築面積延べ53,466㎡で1920年1月から1936年11月の17年間をかけて建築(建築費2570万円:現在価値では660億円)をかけて完成した。中央広間には伊藤博文・板垣退助・大隈重信銅像が三方に建ち、議事堂内の廊下には階段などを含めて約4kmに渡って赤い絨毯が敷かれるなど荘厳な建物である。会派の控え室などを見学後、衆議院議場で説明を聞きながら視察を行う。「正面中央の高い椅子のある席が議長席、その左が事務総長席となっている。議長席を中心として左右にそれぞれ2列の席があるが、前列は国務大臣席で、内閣総理大臣席は左側の議長席に近いところにある。議席は、議長席に向かって左から右へ、所属議員数の多い会派から順次、各会派別に座るのが慣例となっている。(パンフレットより)」概ね市議会と同じである。というよりは、県議会、市議会なども国会を見習っているのであろう。この議場で法律の制定、予算など財政や条約の締結についての議決が行われているのである。



議員食堂で昼食後、石破茂議員と面会する。待ち時間の間、党務の行われる空き部屋を視察する。石破議員にお会いし、改めて訪問の目的等をお話する。党務・国政の推進等多忙な中、私たちのために時間を割いて頂いたことに感謝。



その後、鳥取県選出の議員事務所訪問。公務のため議員との面接はできなかった。舞立昇治議員秘書中園めぐみ氏の案内で、開催中の参議院予算委員会を傍聴させて頂く。集団的自衛権等についての集中審議ということで国民の関心も高く、国会周辺ではデモ隊が出るなどしていた。また、当日の予算委員会傍聴希望者も多く、立ち見の状況であった。



安倍首相をはじめ、閣僚と質問者のやりとりが目の前で展開された。会議に出席されていた舞立昇治議員ともお話することができた。

(2) 安中市 7/16(水) 13:30~15:00

「ICTを活用した地域観光の取組について」

地下鉄、新幹線、JR信越本線を乗り継いでJR安中駅に到着。安中市職員の送迎で昼食会場へ。地元食をいただいた後、再び安中市の車で市役所へ。安中市会議長 伊藤清氏、同市議会事務局次長 猿谷俊之氏、同産業部商工観光課長 萩原弘氏らの出迎えを受ける。

安中市は、群馬県の西部に位置し、妙義山などの山々を望み、磯部温泉（温泉マーク発祥の地）や秋間梅林など多くの観光資源にも恵まれ（年間観光客160万人）、碓氷関所跡やめがね橋など歴史・文化遺産も多く存在している。また、先ごろ世界遺産となった富岡製糸場を有する富岡市（年間観光客250万人）や全国的に有名な軽井沢町（年間観光客800万人）と接し、観光面などでの交流を連携して進めている。

あいさつの後、安中市視察の目的である「ICTを活用した地域観光の取組について」説明を受ける。

主たる内容は、ユビキタスタウン構想推進事業（総務省）を活用した安中観光誘客プロジェクト事業に端を発し、以後、富岡市と連携した「安中・富岡 地域観光まちづくり事業」（総務省情報通信技術地域人材育成・活用事業交付金：絆プロジェクト）へと発展した取組となっている。

事業を活用した地域課題は、観光資源の情報発信力の強化と公共交通機関の利用促進・観光施設の回遊性向上の2点である。事業の概要としては、(1) 安中観光Webサイトの構築：安中市観光協会Webサイトのリンク先、

- (2) デジタル案内板の設置：現在JR駅構内等8カ所、
- (3) モバイルサイトの構築：携帯電話などの活用、
- (4) 回遊散歩（ラリー）システムの構築とイベントの実施などである。ITの活用ということで今後ますます有効な活用が図られていくことになる。白壁土蔵群をはじめ、倉吉市の観光施策・まちづくりの点で参考となる取組である。

なお、この取組を発展させた「G空間シティ構築事業（総務省）」として安中市、富岡市、長野県軽井沢町が実施地域となる取組を企画中であるとのことであった。

説明の後、近くにあるデジタル掲示板の現地視察をして地域ICTの体験をした。視察後世界遺産の富岡製糸場まで送って頂いた。安中市の関係者の皆様、懇切丁寧な説明、様々なお心配り本当にありがとうございました。

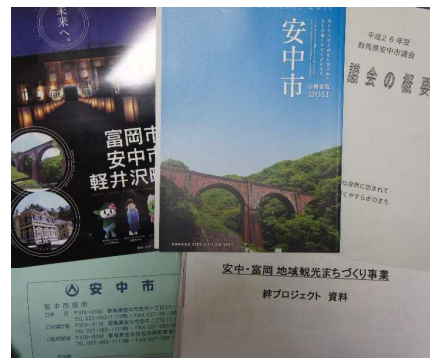
(3) 港区新橋 7/17(木) 11:00~12:00

「鳥取県アンテナショップ視察」

JR新橋駅、銀座方面口徒歩3分ほどのところに鳥取県のアンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」がある。

食のみやこ鳥取プラザは「東京にいながら鳥取を感じる場所」をコンセプトに、平成20年8月にオープンした鳥取県のアンテナショップです。様々な鳥取県の魅力を情報発信しながら、本県の旬の農林水産品、加工品の販売を行っています。（ホームページより）

店頭には、倉吉産の極実スイカが並べてあった。極実スイカの台木は、スイカの原産地といわれるアフリカから採取した種を使い、10年の歳月をかけて鳥取県が育成した、病気に強いスイカの台木を使っています。





そのため、甘く柔らかい食感のスイカが栽培できるようになりました。作り方も難しく、同じ場所での連作もできません。『極実スイカ』は関東方面に大人気だそうです。出荷は7月中旬までと短い期間です。（「ちゅうぶぶろぐ」より）

店内には、鳥取県内の食品を中心とした品が並んでいた。店舗ももうすぐ近くの場所に移転するということであった。物品販売だけでなく、鳥取を発進する基地として、さらにパワーアップした鳥取県のアンテナショップになることを期待している。

2. 視察・調査を終えて

今回の視察は、「要望活動・国会視察」（東京都千代田区）、「ICTを活用した地域観光の取組について」（群馬県安中市）、「鳥取県アンテナショップ視察」（東京都港区）をテーマにした。

「視察・調査の経過及び感想について」に載せたことはもちろんですが、視察を通して他にも沢山のことを学ばせて頂きました。多忙な中を「おもてなし」の心で対応して頂いた皆様方本当にありがとうございました。

視察を通して本市に還元できることを取り入れ、市民の皆さんにお役に立てるよう精進いたします。ありがとうございました。